

第64回穴水町長谷部まつりが、7月18日の前夜祭、19日の本祭と盛大に開催されました。

長谷部まつりは、平安時代末期から鎌倉時代にかけて穴水城主としてこの地を治め、町の基盤を築いたとされる武将・長谷部信連公を偲び、その功績をたたえる町の一大夏祭りです。長谷部神社の例大祭に合わせたイベントであり、穴水の歴史と地域の一体感を実感できる行事として長年親しまれてきました。

近年はコロナ禍や震災の影響により、中止や規模の縮小を余儀なくされていましたが、今年は前夜祭のステージイベントをはじめ、本祭のパレード、そして3年ぶりとなる花火の打ち上げなど、震災前に近い規模で開催することができました。

また、震災時のご支援を通じて生まれた「ご縁」を改めて実感できた2日間でもありました。震災以来、職員派遣でお世話になっている山梨県南アルプス市、長野県宮田村、岐阜県八百津町をはじめ、震災後に災害時相互応援協定を新たに結んだ宮城県山元町、熊本県西原村、兵庫県神戸町から多くの方々が駆けつけてくださいました。

さらに、昨年より復興応援大使を務めていただいている林家三平さんや、三平さんのご紹介により武者行列で信連公役を務めてくださった俳優の内藤剛志さんにもご参加いただき、町内外から多くの来場者をお迎えすることができました。ご協力いただいた関係者の皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。

穴水町は震災を通じて、かけがえない膨大なご縁をいただきました。これは町の大きな財産であると感じています。これからもいただいたご縁を大切に育み、町の発展につなげていきたい——そう意を新たにしました2日間となりました。